

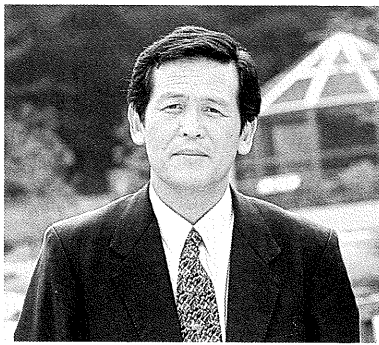
zoo かみね



28号

日立市かみね動物園

1996



動物と私

「鵜 一 話」

塙 吉 七

毎年十王町では、8月に「十王まつり」が実施されますが、今回、鵜飼の実演を行うため、長良川で長年鵜匠さんに飼育されている熟練した2羽の鵜が7月中旬「鵜のパラダイス」に運ばれてきました。年齢が20歳前後の老練な姿は、自然界での寿命(約10年)の倍近い年齢に達しているため、毛並みに艶がなく誰の目にも老いていることは判断できます。ところが近付いてみると警戒するどころか私の姿を目で追いながら話しかけているように「ガーガー」と鳴き、羽をばたばたと広げ愛敬をふりまきます。びっくりして退くと、あんまり驚かなくてもいいんだよばかりに「ガー」とやさしい声で鳴くのです。なんと人間慣れた鳥なんだろうと驚かされました。

数年前、岐阜市の鵜匠さんの家にお伺いした時、長年鵜匠の生活を支えてくれている鵜たちには家族同様の扱いをし、仕事ができなくなった老いた鵜は寿命がくるまで面倒を見、死んだ鵜は「鵜塚」に埋葬し供養するというお話を聞きました。またその夜、長良川で数羽の鵜を綱捌きでそれぞれ動きに合わせて巧みに操る鵜匠さんと、それに合わせ一生懸命水の中に潜り鮎を無心に捕る鵜の姿を見て、人間と動物の共存共栄の姿に感動したことを思い出します。

国民宿舎「鵜の岬」がある十王町の伊師浜国民休養地は、唯一海鵜の捕獲地として地元の方々には知られておりますが、渡り鳥であることから春秋の飛来時期に遠くから眺めることはできても身近に見る機会はずっとありません。そこで県民をはじめ広く全国からの観光客の皆様方に見て頂くため、今年7月、この観覧飼育舎「鵜のパラダイス」が県・町の観光事業の一貫として完成致しました。

現在、この飼育舎には5羽の鵜がおり、鵜捕り名人の沼田弘幸さんが毎日世話をしておりますが、なかなか神経質な鳥で飼育が難しいとのことでした。私も宿舎からすぐの場所にあるため何度か覗いてみましたが、小屋の中心にある岩の上に一見堂々と立っているように見えますが、周囲の動きを気にしながら狭い小屋の中にいる様子は、自然の中で自由に生きる野生の鵜に比べ退屈そうに見えます。

ぜひ皆様方にも、長い間人間との良い関係を持ち続けてきた鵜の姿を身近に見て頂きたいと思います。

プロフィール

塙 吉 七 (はなわきちしち)

国民宿舎「鵜の岬」支配人、全国272ヶ所の国民宿舎中7年連続1位の偉業を達成、来春新館オープン。

〈表紙説明〉

■チリーフラミンゴ

分類：コウノトリ目 フラミンゴ科
生息地：南アメリカ

おもに山地の塩水湖に住み、生息数は約50万羽とされています。餌は主に藻類で、他には小型の貝なども食べます。くちばしの先端と羽の一部をのぞき、全身は淡いピンク色ですが、ヒナは灰色の羽毛で、外敵に目立ちにくくなっています。動物園では、主にフラミンゴ用のペレット(固型飼料)を与えていますが、餌の中には、色を出す成分が含まれています。

〈もくじ〉

動物と私	2
動物園の顔(ライオン)	3
飼育レポート	4
動物園ニュース	6
(第21回)サマースクールの想い出	8
動物園の豆知識	10
ア・ラ・カルト	11

動物園の顔



アフリカライオン

(食肉目：ネコ科)

アフリカ東部～南部の草原、砂漠地帯まで広く分布し、プライドという10～20頭の群れで生活しています。狩りは主にメスがいき、オスが狩りに参加することはほとんどありません。また、獲物の半分以上はハイエナなどがつかまえたものを横取りしたものとわれています。

当園では、生まれてからまだ1年ほどの若いオスとメスの2頭を飼育していますが、オスのたてがみが、立派になるのは、あと2年くらい先のことです。まだまだ幼い2頭ですが、小さくて、あどけない姿を、ぜひ一度、ご覧になってください。

飼育レポート



ハクビシン

傷病野生動物の保護 正藤 陽久

■はじめに

動物園の役割の一つに、野生動物の保護があります。広くはクロサイ、ゴリラ、タンチョウなどの絶滅が心配されるような希少種の飼育を通して得られる情報の野生下への還元、繁殖による種の保存、積極的な環境教育などです。また、身近なものとして、周辺で保護された野生動物の受入れがあります。昨年度は64件74点を受け付けています。今回は、過去8年間の保護状況を報告します。尚、当園は茨城県、茨城県獣医師会の指定する傷病野生鳥獣救護施設にもなっています。

■保護状況

昭和63年4月から平成8年3月までの総数は463件で、哺乳類137件(29.6%)、鳥類318件(68.7%)、爬虫類8件(1.7%)です。種類数も哺乳類12種、鳥類90種、爬虫類4種と多種に及んでいます。最近3年間は毎年60件を超えており、保護件数は増える傾向にあります。(表1、図1)

表1 年度別保護動物数

年度	総数 件点	哺乳類 件点	鳥類 件点	爬虫類 件点
S63	41-46	11-11	30-35	0-0
H1	51-172	15-17	35-37	1-118
2	81-171	36-36	43-43	2-92
3	50-52	10-12	40-40	0-0
4	47-282	15-19	30-32	2-231
5	63-65	16-18	46-46	1-1
6	66-180	13-13	52-60	1-107
7	64-74	21-22	42-51	1-1

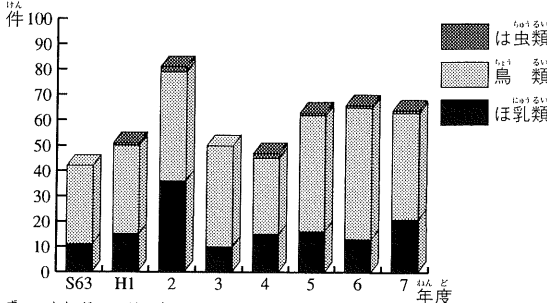


図1 年度別保護件数の推移

■哺乳類

ホンダヌキとハクビシンの保護が多く、タヌキは毎年10頭前後が持ち込まれ、ハクビシンがこれに次ぎます。総数ではタヌキ72件、ハクビシン47件と、哺乳類の53%と34%を占め、合わせると87%にもなります。(表2) 病気による衰弱や交通事故によるものがほとんどで、人里近くにも生息しているため飼犬の病気が移ったり、移動中の道路横断でケガをするようです。平成2年度にとりわけ多数が保護されたのは、山林開発などとの関連が考えられます。

東京近郊では疥癬に罹ったタヌキが問題になっていますが、こちらでの発生はまだ無いようです。なお、ハクビシンは、屋根裏に住みつくなど、人社会にうまく入り込んだ生活をするため、生息数が増えているようで、保護数も増える傾向にあります。

表2 タヌキ、ハクビシンの保護数

年度	S63	H1	2	3	4	5	6	7
タヌキ	9	8	19	5	11	10	10	6
ハクビシン	1	5	17	7	3	3	1	9

また、ニホンザルの保護が2件ありましたが、どちらも大人の雄猿で、近隣の県から流れて来た落猿と思われます。

衰弱したカマイルカの例もありましたが、こちらは大洗水族館にお願しました。ほかには、ムササビ、ホンダギツネ、ホンダテン、ニッポンアナグマ、ニホンイノシシ、コウモリ、ノウサギ、ノネズミを保護しています。

■鳥類

年間を通してケガや衰弱で持ち込まれ、6月から8月にかけては、雛や幼鳥の保護が数多くあります。種類数も90種に及んでいます。(表3)

表3 保護した鳥の種類

アビ、オオハム、アカエリカイツブリ、ミミカイツブリ、ハジロカイツブリ、カイツブリ、ウミウ、ヒメウ、コハクチョウ、コクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オシドリ、ホオジロガモ、キンクロハジロ、スズガモ、ウミアイサ、エトロフウミスズメ、コアホウドリ、フルマカモメ、ハイロミズナギドリ、ハシボソミズナギドリ、コムズナギドリ、セグロカモメ、ウミネコ、カモメ、ユリカモメ、ミツユビカモメ、コアジサシ、ヨシゴイ、ミゾゴイ、ゴイサギ、ササゴイ、アマサギ、コサギ、チュウサギ、クロサギ、クイナ、コチドリ、タゲリ、トウネン、タシギ、ヤマシギ、アカエリヒレアシシギ、ミサゴ、ハチクマ、トビ、ノスリ、オオタカ、ハイタカ、ツミ、ハヤブサ、チゴハヤブサ、コチョウゲンボウ、チョウゲンボウ、トラフズク、コミミズク、フクロウ、コノハズク、オオコノハズク、アオバズク、コジュケイ、キジ、キジバト、カッコウ、ヨタカ、ヤマセミ、カワセミ、アオゲラ、コシアカツバメ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、トラツグミ、アカハラ、クロツグミ、シロハラ、ウグイス、キビタキ、オオルリ、メジロ、アオジ、カワラヒワ、イカル、シメ、スズメ、ムクドリ、オナガ、カラス 計90種

ケガは翼の骨折や激突が多く、台風の後などに持ち込まれます。釣り糸を足に絡ませて、切断しなければならぬケースもありました。重傷のものは翼を切らねばならず、処置したあとも飼いつづけています。

衰弱には、渡りで体力を落したのや、病気になるもの、餌をうまく捕れなかったためのものなどがあります。油汚染を受けたコムズナギドリが続けて持ち込まれたケースなどは、海洋の汚染が伺えるものでした。コアホウドリなどの希少種も保護されています。

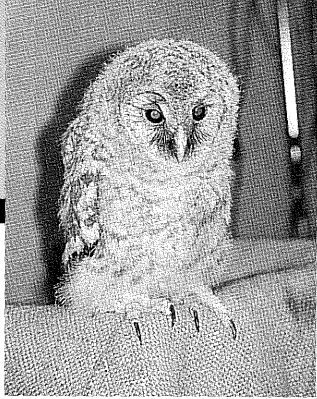
雛、幼鳥は鳥類全体の29%で、雛では、ツバメ、スズメ、ムクドリがその内の53%を占め、ほかにフクロウ、メジロ、セキレイ、不明がありました。全て巣から落下したものでした。幼鳥はゴイサギ、カラスが多く、オオタカといった希少種の保護もありました。さし餌、時には強制給餌を頻繁にしなければならぬので、手間がかかるのですが、その割に途中で死亡してしまったり、成鳥になって自然に戻しても、どれくらいの数が生存するものか不明であり課題になっています。また、巣立ち直後のものを迷子や弱っているものと勘違いして持って来てしまうケースもあります。

■ 爬虫類

日立市は、アカウミガメ産卵の北限に近く、2年に1度の割合で産卵が確認されています。(表4)

表4 アカウミガメ卵の保護状況

年月日	場所	個数
H1.6.24	初崎	118
2.7.16	旭町	91
4.8.11	みずき木	129
4.8.11	河原子	102
6.6.28	十王町	107
8.8.18	くじ慈浜	146



フクロウのヒナ

孵化には50~60日かかりますが、この辺りでは砂中温度の持続が期待できないので保護して人工孵化をしています。昨年までに5件547個を保護し、全例で孵化に成功し海に帰しています。今年も1件146個を保護しました。

ほかには、近くの湖で釣ったスッポン、庭先で捕まえたヤマカガシ、輸入材木に紛れていたトツケイヤモリを保護しています。

■ 最後に

動物園には、実に多くの野生動物が持ち込まれますが、野生復帰できるものはそう多くはありません。(私たちの力が足りないのかもしれないかもしれませんが。)しかし、傷ついたり弱ったりした野生動物を治療し復帰させるのはなかなか大変なことであるのも事実です。10日以上さし餌を続けた雛があつてなく死んでしまったり、時には瀕死の重傷や、重い感染症でなす術がなく、苦痛排除のために安楽死を選択せざるを得ない場合もあります。

ですから、元氣になって、大空や茂みの中に姿を消す彼らを見つめるときは、「ホッ」と肩の力が抜ける思いです。同時に絶命していった者たちを思うに付け、「同じ地球の仲間として自然の状況にも目を向けなければ」と考えさせられます。例えば、道路や側溝を造ることは必要な事かもしれませんが、ただ、このときタヌキが安心して横断できるようなトンネルや、イノシシの子供がはい上られるような斜面を設けておけば保護される動物たちも少なくなると思われます。実際に、共存を考え、優しい開発をすることで成果を挙げている所もあります。ちょっとした気配りが動物たちの命を守ります。傷ついた野生動物を連れて来てくださった多くの人達の思いも同じではないでしょうか。

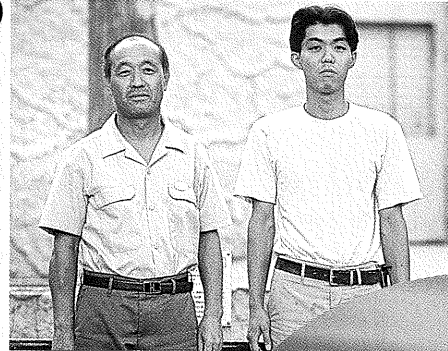


どうぶつえん
動物園

おもてきごと
主な出来事

H8.4.1~9.15

H8.4月1日・人事異動により
稲葉統男所長から永井晃所長に
かわる。新採職員
1名増員される
・日立さくらまつり
(~23日まで)



◀永井所長と高原君です。
よろしく!

・キャラクターショー
(花の種プレゼント)

7日・ワオキツネザル1頭繁殖

22日・アカテタマリン2頭繁殖

5月3~6日・動物園ちびっこまつり

「キャラクターショー」「ふれあい
動物コーナー」「ぬいぐるみと遊
ぶコーナー」「粘土で動物を作る
コーナー」「らくがきコーナー」
を開催する

5日・エミュー(メス)急性腸炎のため
死亡する

11日・ニホンザル1頭目繁殖確認
今年の出産数19頭

17日・パラワンコクジャク(オス1、メス1)

・カムリシロムク(オス1、メス2)
横浜市立野毛山動物園より搬入

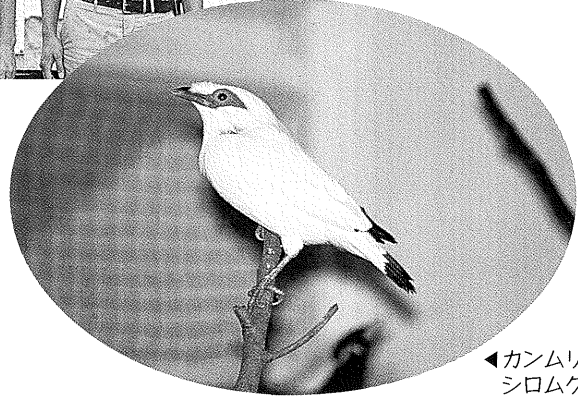
18日・レッサーパンダオス2頭のため
1頭を搬出し、メス1頭を搬入
する(宮崎市フェニックス自然
動物園と交換)

21日・野生ニホンザルがサル山の中に
飛び込み闘争し、死亡する

26日・日立市子ども会育成連合主催写
生大会開催

・コモンマーモセット2頭繁殖、

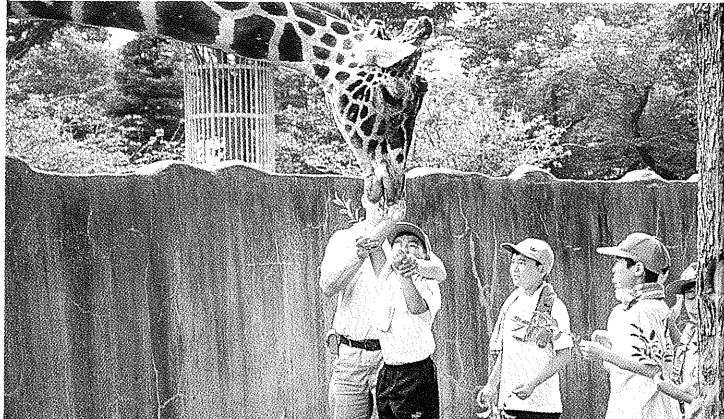
・ロバ(オス1)繁殖



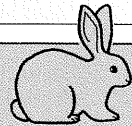
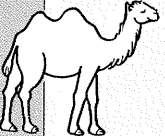
◀カムリシロムク



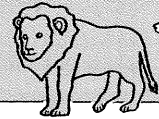
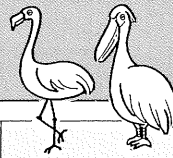
▲新飼育事務所、調理室



▲恐がらなくてもだいじょうぶ(サマースクール)



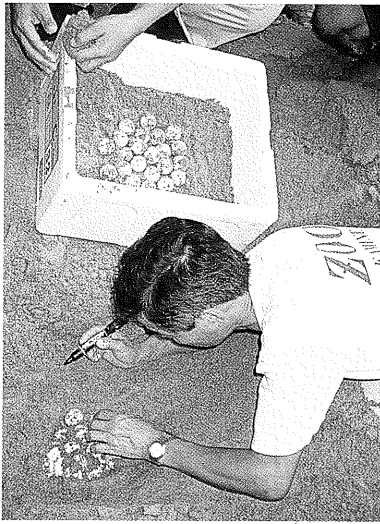
ニュース



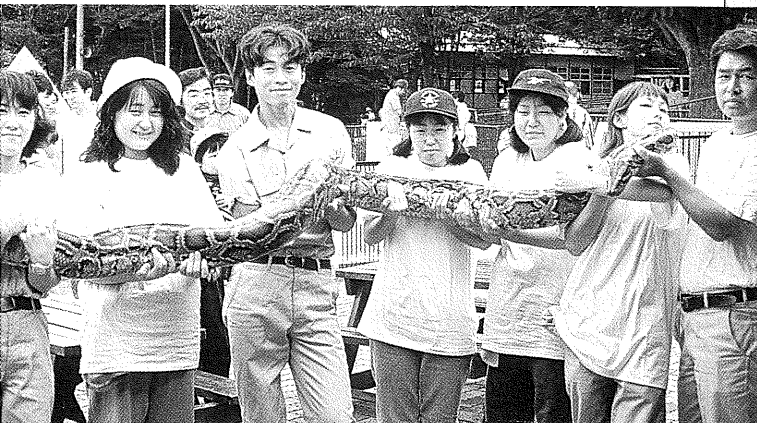
▲猛獣脱出対策訓練



▲アカテタマリン繁殖



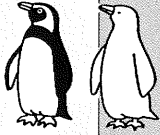
▲アカウミガメ卵の保護



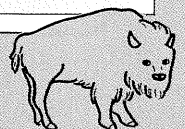
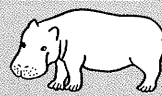
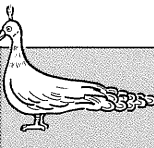
▲インドニシキヘビで〜す(1日飼育体験)

おもてきごと 主な出来事

H8.4.1~9.15



- 6月19日・アジアゾウ体位測定
- 20日・アジアゾウ(メス:ミネコ)左前足が腫れ治療する(7.17に回復する)
- 28日・新しい飼育事務所及び調理室が完成し引っ越しする
- 7月1日・動物愛護週間標語募集(31日まで)応募総数152点
- 6日・猛獣脱出対策訓練実施(協力:日立警察署、日立消防署、日立市有害鳥獣駆除隊、日立市公園協会)
- 8日・ワオキツネザル(オス)闘争により足を骨折、治療する。
- 17日・職業体験学習(那珂町立那珂第3中学校女子1名)
- 23~24日・第21回動物園サマースクール開催:市内小学生260名参加
- 26日・職業体験学習(日立市立平沢中学校女子9名)
- 30日・職業体験学習(東海村立東海中学校男子8名女子6名)
- 8月1日・あんどんまつり開催(~18日まで)
 - 夜の動物園開園(1~3日)
 - 12日・飼育実習生受入れ(~18日まで)
 - 18日・日立市久慈浜海水浴場で発見されたアカウミガメの卵(146個)を保護。当園で人工孵化中
 - 30日・飼育実習生受入れ(9.13まで)
 - 9月12日・職業体験学習(ひたちなか市立勝田第3中学校女子13名)
 - 15日・1日体験学習
 - 初めて行った1日飼育体験(一般公募19名参加)



サマースクールの思い出

たのしかった

サマースクール 豊浦小2年 はぎや さき

わたしは、はじめて、サマースクールにさんかして、いちばんたのしかったのは、サルやまでエサをあげたことです。エサは、さつまいもと、パンと、にんじんでした。わたしは、あかちゃんざるに、エサをなげようとしたのですが、おおきいさるが、さきにとってしまいます。わたしは、「ガンバレ、ガンバレはやく大きなざるにまけないように」と、心の中でおうえんしました。でも、エサをとれないおさるさんには、少しわけてあげるやさしさもみつようだと思いました。わたしも、がっこうにいったら、みんなとなかよくしたいと思えます。さいごに、どうぶつえんの、おじちゃんおにいさん、おねえちゃん、どうもありがとうございました。

サマースクールのおもいで

大沼小3年 今野 尚耶

ほくは、サマースクールで、いろいろなことをべんきょうしました。ほくは、これで、サマースクールをやったのが2回目でした。でもやっぱり何回やっても楽しいです。かわっていることは、一つもありませんでした。しいくの先生はひとりもかわりませんでした。でも前の一回目よりも、とても楽しかったです。さるにえさをやったり、カバの口の中を見たりきりにえさをやったりといろいろなことをサマースクールでべんきょうしました。それで、動物も人間と同じということがわかりました。後は、ヘビにさわったり、首に巻いたりしました。サマースクールはとても楽しい一日でした。

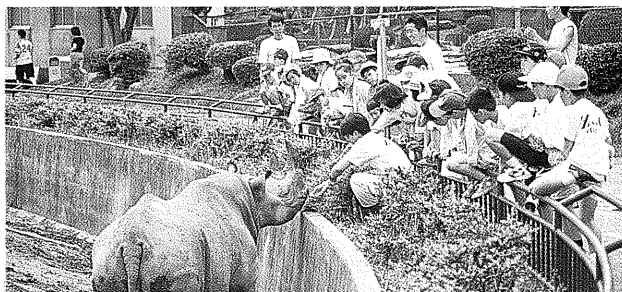


ドキドキしたよ
サマースクール

金沢小3年

秋山 さおり

「ドキドキ、どんなことするのか？」サマースクールが始まりました。1番目にゾウの所へ行きました。ゾウは非常にいたずらだそうです。ゾウは力もちなので、人間だけでなくきかいをつかいながらとびらをあけしめするそうです。2番目に、ウサギ、ヤギ、ロバ、ペンギンがいる所へ行きました。私が気に入ったのは大きなインドニシキヘビです。手を、口の前におくと、2つに分かれているしたを出します。3番目は、キリンです。キリンは、えさをもらうときに首をのばし、したを出します。そのしたの色は、黒っぽいむらさきでした。4番目は、カバです。カバの口の中は、前歯の方がほそ長く、後ろの歯の方は、人間の歯のような形をしています。5番目は、サル山です。えさをあげるとかけつけて、いっしょうけんめい食べようとしている所がかわいいです。6番目は、ライオンのとこです。オスとメスがいました。メスの方が私たちの方にちかづいてくると、私は「私、おいしいよ。」と言いました。でもメスはカベにのぼれずに、もどって行きました。さいごにおさらいクイズを10もんやりました。手をあげましたが、さされなかったのでさんねんでした。でもとても楽しかったです。



雑誌・新刊書籍・一般文具
ご用命は——

永盛書店

日上市神峰町4丁目11番24号 神峰ビル
(神峰公園下) ☎(0294)21-1926

小鳥及びペットの専門店

内山小鳥店

日上市助川町2-1-15
☎(0294)21-1791

どうぶつえん さん か
動物園サマースクールに参加して

ひたかし おん おおし み き
日高小3年 大橋 未紀

私は、サマースクールが楽しみでした。はがきを、お母さんに出してきてもらってから、あたたかというしらせのはがきがきたので、いってみました。Tシャツをきがえて、なかに入ると、ともだちがいっぱいきてました。けんがくがはじまると、ゾウをみて、こども動物園へ入りました。そこで、ウサギの上のはが4本だということが初めてわかりました。そして、キリンにエサをあげました。ムラサキ色の、長いたで、まきとるようにしてたべていました。動物の食べているエサの中に、ミルワームがあるのにびっくりしました。4年になったらまた行って、こんどは、ゾウやペンギンに、エサをあげてかんさつしたいです。

**サマースクールに
さんかして**

なめかわい おん わた なべ
滑川小4年 渡辺 あつみ

私は、サマースクールにさんかできてよかったと思います。

わたしは動物のヒツメをはじめてしました。ゴリラのオス、メスのみかたもはじめてしました。

よくどうぶつえんには、いくけど、やぎの目がどんなふうになっているのかまでは知りませんでした。へびも昔は、足がはえていたなんて、ぜんぜん知りませんでした。サマースクールのテキストをもらって「これでいつもどうぶつのがわかるな」と思いました。

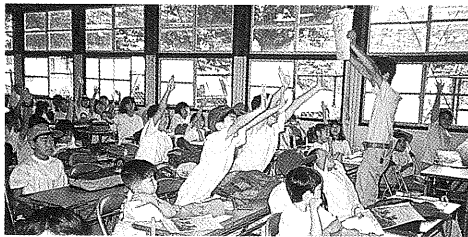
私は、本当に、サマースクールにさんかしてよかったと思っています。

どうぶつ
動物とふれあつて

おおく ぼし おん み こし ま み
大久保小6年 見越 麻美

私は、サマースクールに参加して、いろいろなことがわかりました。

その中でも、一番思い出に残ったのが、サルのおさあげでした。調理室で、パン、人参、その他を切つてかごに入れ、好きなようにえさをあげられて、とても良かったです。目の前で、ゾウを見たりのは初めてだったので、ちょっとこわかったけれども、かわいいと思えました。今日は、サマースクールに参加したことを忘れないように、動物を大切に育てていこうと思えました。



たじり おん
田尻小6年

かん の とし あき
菅野 利昭

ほくは、サマースクールにさんかして、本当によかったと思えました。知らなかったことを、知

ることができました。動物たちは、とってもかわいいですが、せわするのがたいへんでした。しくごやのそうじは、一番たいへんでした。鼻につくようなにおい、ほくは、思わずにげだしたくなりましたけど、ここでにげ出すと、男でなくなるような気がしました。それに、きれいになったへやを見て、動物たちが、よるこんでくれるとほくもうれしいし、ほく自身にも自信がつく、そんな思いでがんばりました。動物や虫など好きで、よくかってくれたり、虫などをつかまえてきたりしていたけれど、少しこれからは、考えてみたいと思っています。たいへんありがとうございました。

高度な技術！より美しく！！より早く！！
各種写真撮影・カラー自動現像機設置店



レインボースタジオ

いま、集合写真が大好評！！

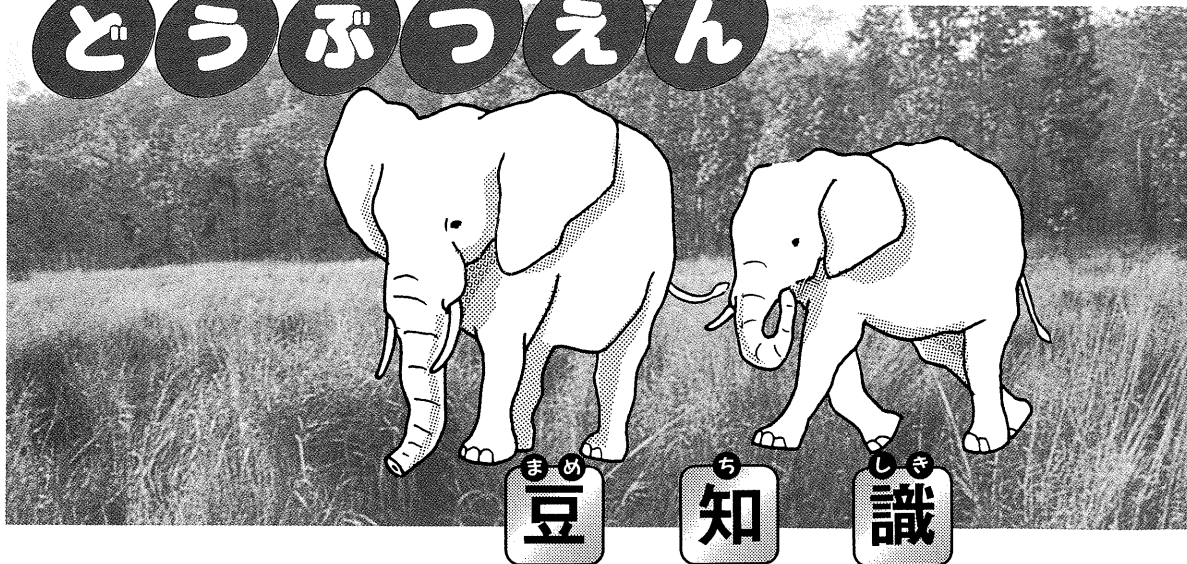
■〒317 日立市神峰町2-13-13
☎(0294)21-6600(早番)

ビデオ撮影・団体・広告・婚礼写真
スピード写真・写真材料・DPE



LS

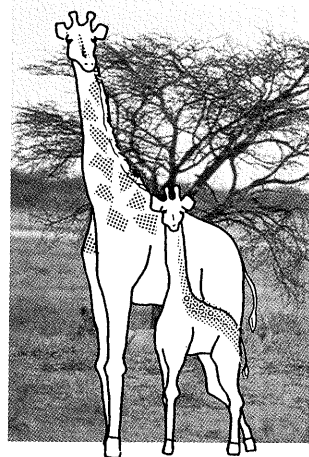
どうぶつえん



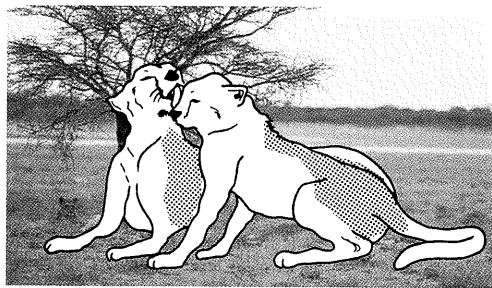
みなさんが毎日訪れる動物園は、全国に96園（日本動物園水族館協会加盟）ありますが、さて皆さん動物園は、いつ、どこの国が始まりなのかご存じでしょうか？

動物園の始まりは、紀元前1100年ごろ中国（中華人民共和国）の周の時代に「知識の園」と称して、学術研究のために設置されたものが、世界最古のものといわれています。また、ギリシア・ローマ時代にも、ヒョウ・ライオン・クマ・ゾウ・キリン・ラクダ・ワニなどの多くの動物が飼育されていたようです。その後、14～15世紀ごろから、イギリス・フランス・ドイツなどにも動物園が設置されましたが、最初は、貴族やお金持ちの人達の独占物で、その後、だんだん公共的なものになっていったようです。

日本の動物園の始まりは、江戸時代にみられますが、本格的な動物園が開設されたのは、1882年（明治15年）3月20日で、東京の上野公園の一部に動物園が設置され、一般に公開されるようになったのが始まりです。



かみね動物園は、昭和32年6月5日に開園し、初めは、ニホンザル・ヤクシカ・ニッポンツキノワグマなどが飼育されました。その後、昭和42～44年に、隣接していた神峰市民球場を現在の



北園として拡張し、現在の動物園のかたちになりました。現在は、アジアゾウ・ゴリラ・チンパンジー・ヒョウ・キリン・トラ・ライオン・レッサーパンダなど、104種535点の動物が飼育されています。

今日では、地球の環境破壊がすすんで、多くの野生動物が減ってきています。動物園のなかにも、絶滅の恐れのある動物も多く、これらの動物の増殖につとめ、種の保存に役立つことが動物園の使命の一つです。

ア・ラ・カルト



アザラシ君は芸達者

当園には3頭のゴマフアザラシ(雄2、雌1)が飼育されていますが、このうち、後から来園した雄のゲン君は、なかなかの芸人(?)ぶりを披露してくれます。その得意技とは、「まわれ」の号令でぐるりと横に一回転、それと、「拍手」で前足をつかってバシャバシャと水面をたたく2つの芸当です。午前と午後の2回に分けて与える餌の時間には必ずこれをさせているので、餌の時間にちょうど通りがかったお客さんは、「かわいい」「すごい」などと口々にゲン君をほめたえます。

ところが、近頃、「拍手」の調子が思わしくありません。片手だけを使ったり、あげくのはてにはクルクルと回りながら両手を振り回してみたりするのです。なにもそこまでなくても、と思ったのですが、あまりにもゲン君の頑張りぶりに、つつい餌を多めに投げ入れてしまうのでした。



シカのいたずら

シカのグラウンドを掃除していると、障害物がなかったはずなのに、急にホースがひっかかって前に進めなくなることがしばしばあります。何事かと思って振り返ると、雄がホースをつのにひっかけてグイグイひっぱっているではありませんか、なにがおもしろくてそんないたずらするのかと問いかけても、知らぬ存ぜぬとばかり無心にホースを引っ張りつけています。おそらく角がこそばゆくて角をかいているのかと思うのですが、掃除の邪魔をされては仕事になりません。それからというものは、ホースに近づいてきたなど思ったらビシャと鼻つつらに水をお見舞してやるのです。しかしそんなことぐらいで引き下がるようなやわな根性ではないのか、それともただのアホなだけなのか立派な角になるまでと担当者は今日もジツとがまんの日々が続いています。

WWF Japanからのお知らせ

WWFは、1961年に設立され、世界130カ国で11,000件以上の事業を行ってきた民間の自然保護団体です。WWF Japan(財)世界自然保護基金日本委員会)は、自然環境を守り、野生の動植物を救うために資金を集めています。

みなさんも、同じ地球にいる仲間として、ぜひWWF Japanの事業に協力しませんか。

★入会や寄付に関するお問い合わせは下記まで

〒105 東京都港区芝3-1-14
日本生命赤羽橋ビル6F
財)世界自然保護基金日本委員会
(会員係)

☎03-3769-1241

協力の方法

1. 会員になる
会員の方には会員証を発行し、定期的に機関誌をお送りします。年会費は、
○Jrレンジャー会員(15歳まで) 1,500円
○レンジャー会員(20歳まで) 3,000円
○一般会員 5,000円 10,000円
15,000円 30,000円 60,000円
2. 寄付をする
3. 募金に協力する
○みなさんの会費や、寄付、募金は、日本国内だけでなく、世界の動植物を救うため使われます。

告知板

◎行事案内

1. かみね公園秋まつり……10月27日、11月3日・4日
 2. 正月お年玉……えとの置物プレゼント
 3. 動物ふれあい広場……常時開催(雨天中止)
- ◎「ふれあい教室」開催……9～11月、3～6月
子供動物園ふれあい広場にて火～金曜日、10:30～12:00、一日先着4団体。予約制です。

飼育動物点数(平成8年9月30日現在)

哺乳類	51種	297点
鳥類	46種	199点
爬虫類	7種	39点
合計	104種	535点

ZOOかみね 28号

編集 日立市かみね動物園 日立市宮田町5-2-22 ☎(0294)22-5586 Fax(0294)22-5596
発行 (財)日立市公園協会 日立市宮田町5-2-22 ☎(0294)22-4737 Fax(0294)22-4740
発行日 1996.10.20

あき えん そく
秋の遠足は
日立市 かみね公園で!!



じょうばん じ どうしゃどう
常磐自動車道

ひ たちちゅうおう ぶん
日立中央I.Cより3分



かみね公園

あき
秋まつり

動物写真大会、キャラクター
 ショー、クイズラリー ほか

予告

10月27日(日)
 11月3日(日)・4日(月)

11月13日水茨城県民の日
 かみねレジャーランドに限り
入園無料になります

レジャーランド

入園料金	一般	団体 (30名以上)
大人 (15歳以上)	450円	350円
小人 (4歳~15歳未満)	200円	150円

レジャーランド

のりもの料金	一般	制限
一枚券	100円	満3歳より、のりもの 料金をいただきます。 大人・小人・遊園地・ レジャーランド共通
回数券	1,200円 (13枚つづり)	
徳用のりもの券	2,500円 (30枚つづり)	

動物園

入園料金	一般	団体 (30名以上)
大人 (15歳以上)	350円	300円
小人 (4歳~15歳未満)	70円	60円

遊園地 (入場無料)

のりもの料金	一般	団体 (30名以上)	制限
一枚券	100円	80円 団体のりもの 券は、遊園地 のみ有効	満3歳より、 のりもの料金 をいただきます。 大人・小人、遊 園地・レジャ ーランド共通
回数券	1,200円 (13枚つづり)		
徳用のりもの券	2,500円 (30枚つづり)		

※休園日：4月、8月を除く毎週月曜日(詳しくはお電話で!!)

財団法人 **日立市公園協会**

〒317 日立市宮田町5-2-22
 TEL (0294) 22-4737(代)

- レジャーランド……(0294)22-4737
- 市民プール……(0294)23-3045
- 遊園地……(0294)23-1515
- ホリゾンかみね……(0294)22-2045

日立観光テレフォンサービス TEL(0294)24-1000